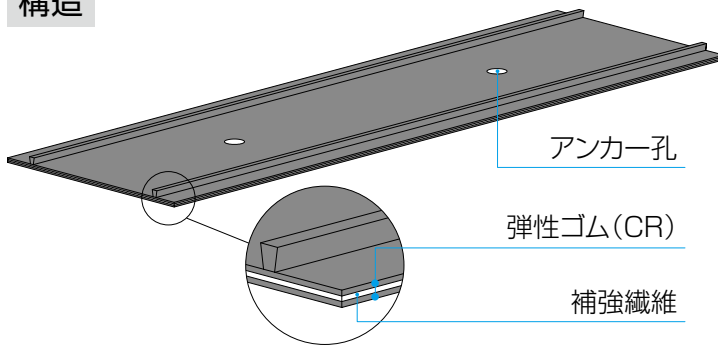


PCスラブ版用ゴム支承

はじめに

PCスラブ版用ゴム支承は、弾性ゴムの中間に、鉛直力によるゴムの膨出を抑制するための補強繊維で補強された橋梁用の帯状ゴム支承です。橋梁の支承部で求められる基本的な機能（荷重伝達機能・変位追従機能）を有しています。プレテンション方式スラブ桁のように伸縮量が少ない短支間のコンクリート橋に採用されております。

構造



弾性ゴムと補強繊維を一体に加硫成形した帯状ゴム支承です。鋼材を使用していないため、ST式防蝕アンカー装置（変位拘束構造）の設置位置にアンカー孔を容易に設けることができます。

特長

1. スラブ版にクサビ部が埋め込まれるため、施工時や供用時にゴム支承が脱落することがありません。
2. あらゆる方向の伸縮と回転を吸収できるため、斜橋および曲線橋にも使用できます。
3. 弾性ゴムと補強繊維の積層構造であるため、腐食することがありません。
4. 疲労耐久性に優れているため、保守をほとんど必要としません。
5. 車両通過時の振動を吸収します。
6. ST式防蝕アンカー装置（変位拘束構造）と併用することができます。

制限値

項目	制限値
最大圧縮応力度	$\sigma_{\max} = 2.5 \text{ N/mm}^2$
せん断ひずみ	$\gamma_{sa} = 70\%$

積層構造図

層数	断面図	弾性ゴム		補強繊維 (mm)	製品厚 (mm)
		一層厚 (mm)	総厚 (mm)		
2層		3.5	7	3 × 1	10

■ ゴム材料の機械的性質、物理的性質

項目	単位	クロロブレンゴム (CR)		補強繊維		試験方法		
		規格値	試験値	規格値	試験値			
静的せん断弾性係数の呼び	---	G10		---		---		
機械的性質	破断伸び	%	450以上	660	30以下	20	引張試験 JIS K 6251	
	引張強さ	N/mm ²	15以上	19.1	12以上	15.7		
	圧縮永久ひずみ率	%	35以下	15	---	---	圧縮永久ひずみ試験 JIS K 6262 (70℃×72hr)	
	硬さ	---	---	---	D60±5	D59	硬さ試験 JIS K 6253	
物理的性質	耐熱老化性	25%伸長応力変化率	%	-10~+100	+5	---	空気加熱老化試験 JIS K 6257 (70℃×72hr)	
		伸び変化率	%	-50	-5	---		---
	耐オゾン性	標準	---	肉眼観察で亀裂のないこと	異常なし	---	---	静的オゾン劣化試験 JIS K 6259 ※1
		低温	---	肉眼観察で亀裂のないこと	異常なし	---	---	静的オゾン劣化試験 JIS K 6259 ※4
	耐水性 (質量変化率)	%	10以下	6	---	---	浸せき試験 JIS K 6258の4 ※2	
	耐寒性	---	低温脆化温度が-30℃以下であること※3		異常なし	---	---	低温衝撃ぜい化試験 JIS K 6261

道路橋支保便覧(H30)規格

※1：40℃×96hr、50pphm、50%伸長

※2：蒸留水温度55℃、浸せき時間72hr

※3：寒冷地では、-40℃以下で異常ないこと

※4：-30℃×96hr、50pphm、50%伸長

東京ファブリック工業

支店

札幌 盛岡 仙台 宇都宮 新潟 東京 横浜 名古屋
金沢 京都 大阪 高松 広島 福岡 鹿児島



お問い合わせ先

本店

〒163-0429 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル29階

URL：https://www.tokyo-fabric.co.jp/